

# 京都スタジアム（仮称）検討特別委員会

日 時 平成 2 9 年 1 月 1 3 日（金）午後 1 時 3 0 分～  
場 所 全員協議会室

---

## 1 開議

## 2 案件

（1）論点整理について

（2）質疑等項目の検討について

## 3 その他

（1）次回日程について

## 京都スタジアム（仮称）検討特別委員会 論点整理表

論点	京都スタジアム（仮称）検討特別委員会での検討	
	○	備考
財政について		
騒音等対策について		
交通対策について		
市民説明について		
経済効果について		
スタジアム本体整備について		
スタジアムの利活用について		
スタジアム周辺の整備について		
協議経過等について		
京都・亀岡保津川公園について ※産業建設常任委員会		
治水対策について ※桂川・支川対策特別委員会		
アユモドキの保全について ※環境厚生常任委員会		
駅北土地区画整理事業について ※産業建設常任委員会		

No.	分類	質疑等項目	備考	会派名	留意事項	送付
1	財政	財政的課題		新清流		
2	財政	スタジアム用地変更後の財政に対する問題点は。	市債が10.9億円増加し、市民負担が増えると考えが。	緑風会		
3	財政	駅北の京都スタジアム(仮称)用地の買収費は、さらに何億円を見込んでいるのか。また、事業費は総額でいくらになり、うち亀岡市の一般財源と特定財源はどのようになるのか。亀岡市の財政規模から、他の緊急を要する事業への影響は無いのか。	※総事業費の内訳などを明示すべきである。 ※新用地での事業計画に基づき、正しく分析された経済効果について示されたい。	共産党		

No.	分類	質疑等項目	備考	会派名	留意事項	送付
4	騒音等対策	騒音、振動問題		新清流		
5	交通対策	渋滞対策		新清流		
6	市民説明	京都スタジアム(仮称)の実施計画等業務委託にともなう課題整理について。	関係すると考えられる近隣住民(交通停滞・環境景観・騒音)への説明会は(篠町を含む)Jリーグ仕様で。	緑風会		

No.	分類	質疑等項目	備考	会派名	留意事項	送付
7		(財)日本サッカー協会のスタジアム標準(サッカースタジアムの建設・改修にあたってのガイドライン)は、「広域立地条件」として、「スタジアムの特性から、試合やイベントの開催時には、数万人規模の人が集中します。結果として、大きな歓声や照明の周囲への漏れ(スカイグロー)、交通渋滞など周辺地域に影響が出ますので住宅地域から離れた場所が適しています。」(5頁)と指摘している。現地は追分町や向嶋団地から100m程度と近接しており、以下の点の対応はどうか。		共産党		
	騒音等対策	イ) 騒音対策はどうするのか。				
	騒音等対策	ロ) 照明は「ピッチ内のいずれの個所においても照度1,500ルクス以上の明るさを保持し、均一であること」(Jリーグのスタジアム検査要項)となっているが、周囲への漏れ(スカイグロー)はないのか。				
	交通対策	ハ) 交通渋滞への対策はどうするのか。				
	市民説明	ニ) 以上について、追分町や古世町向嶋の近接する住民の自治組織に、いつ説明をするのか。				

No.	分類	質疑等項目	備考	会派名	留意事項	送付
8	経済効果	完成後の経済効果(波及効果)		新清流		
9	経済効果 スタジアムの利活用	京都スタジアム(仮)建設による経済効果と多種目のスタジアム使用は可能か。	当初の経済効果から変化している点は。スタジアムの使用用途の確認を。	緑風会		
10	経済効果 スタジアムの利活用	「稼ぐ」スタジアムを他市の例も参考にし、本市としてはどのような構想を考えているか。(特別委員会としても研究し、積極的に提案していくべき) ※多機能複合型のスポーツ施設	以前の場所は都市公園内で営利目的の活動を制限されていたが、建設予定地が隣接地に変わりスタジアムの多機能化と地域活性化にも貢献できる。 ※府の具体的な実施設計図が示されていないので、検討に無理な面もあるが。	公明党		

No.	分類	質疑等項目	備考	会派名	留意事項	送付
11	スタジアム本体整備	土地区画整理事業地内に、杭打ち工法を採用して地盤形成を図るとの事だが、アユモドキの越冬地となっている地下水の水脈を遮断する、もしくは、かく乱することにつながるのではないか。	※「環境大臣意見」に従って、市が行っている5カ所でのモニタリング調査について、市議会には詳細が報告されていない。具体的な資料での報告を求める。 ※現在、京都府が三次元流動解析業務を依頼している業者名、仕様書、どんなデータをもとに検証しているのか提示されたい。	共産党		
12	スタジアム周辺の整備 京都・亀岡保津川公園	周辺整備全体像(13.9ha含む)		新清流	※京都・亀岡保津川公園産業建設常任委員会	
13	スタジアム周辺の整備	曾我谷川左岸の当初計画(13.9ha)では、サブグラウンドや駐車場を一体のものとして配置されていた。土地区画整理事業地内に3.2ha規模で計画するならば、サブグラウンドや駐車場はどうするのか。		共産党		

No.	分類	質疑等項目	備考	会派名	留意事項	送付
14	スタジアム周辺の整備	スタジアムを中心とした「花と緑」の都市公園計画について。	もっと市民に宣伝・アピールすべき。	公明党		
15	京都・亀岡保津川公園	現在購入している14億円の当初スタジアム建設予定地について、亀岡市都市計画公園としての整備計画はどうなるのか。	国や府に要望しているが本市として基本計画を示すべきと考えるが(前の計画では15億円の整備計画であった方向は)。	緑風会	※京都・亀岡保津川公園産業建設常任委員会	
16	京都・亀岡保津川公園	都市計画公園「京都・亀岡保津川公園」の用地買収に14億円を費やした。この公園についての計画の見直しはどうするのか。トイレ等上下水道事業費、公園・周辺整備費などはどのように見積もっているのか。	※整備費用、財源等の見通しを明らかにすべきである。	共産党	※京都・亀岡保津川公園産業建設常任委員会	

No.	分類	質疑等項目	備考	会派名	留意事項	送付
17	協議経過等	前市長から環境保全専門家会議との協議経過について、説明を受けるべきと考えるが。	特別委員会で14億円で用地購入を決断するに至った事についての説明を(市民の関心のある)。	緑風会		
18	協議経過等	都市計画決定した「京都・亀岡保津川公園」について、数々の問題点が指摘されていたにもかかわらず、先に用地を購入し、後から調査を行ったことで、今の移転問題が生じたことは事実である。このような行政行為(とその責任)についてどう考えるのか。	※当時、文化庁など関係機関との協議が十分になされていたのか。	共産党		
19	協議経過等	「アユモドキ等の自然環境と共生する亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム(仮称)の整備について」(平成28年4月27日・環境保全専門家会議 座長提言)により、亀岡駅北土地区画整理事業用地を亀岡市は場所確定した。座長提言にある「地下水脈保全」の条件が現時点において担保されていないのに、用地変更を決定した理由とその時期について示されたい。		共産党		

No.	分類	質疑等項目	備考	会派名	留意事項	送付
20	協議経過等	前市政で設置されていた、「大規模スポーツ施設の誘致に係る検討会議」(栗山市長・両副市長・企画管理部長・総務部長・まちづくり推進部長・まちづくり推進部理事等で構成)は亀岡駅北側(区画整理内)を検討し、「市街地に近接しており、影響はややある」、また、「景観計画上課題がある」と判断され、栗山市長が曾我谷川左岸での検討を指示した経緯がある。市としてこの土地の的確性について判断基準を転換した理由は何か。		共産党		
21	治水対策	土地区画整理事業なので、地下の貯水ピットは設けないとしているが、治水安全度は確保できないのではないかと。逆流現象が生じて、宇津根橋から上流域も危険になるのではないかと。これまで、市内の水害常襲地であった所以外でも、被害が拡大するのではないかと。	※保津川(桂川)改修計画の当面計画(1/10)が概成したが、暫定計画(1/30)、基本計画(1/100)は費用的にも景観的にも不可能だと言われている。見通しはあると考えているのか。	共産党	※治水対策 桂川・支川対策特別委員会	
22	その他	立地場所も含め、亀岡市から2016年6月に、八角形のスタジアム形状・27mの高さで公安協議の図面が提出されている。この図面は、誰が作成しどのような機関で検討されたのか。議会への報告はなかったが。	※公安協議でのスタジアム図面が、八角形状になっている根拠ならびにその作成者、詳細についての提示を求める。 ※この図面は市担当者から府担当者に送られたものである。	共産党		

No.	分類	質疑等項目	備考	会派名	留意事項	送付
23	その他	京都府がスタジアム建設についての、いわゆる「事業計画書」を作成しているはずである。亀岡市はそれを入手していないのか。入手しているのなら、議会に詳細を示すべきである。		共産党		
24	その他	技術提案の概要が昨年12月、2枚の資料で示されたが、京都府から亀岡市は技術提案書を入手しているのか。入手しているのであれば、なぜ議会に技術提案書そのものを示さないのか。		共産党		
25	その他	実施設計等業務の業者選定はプロポーザル方式で行われたが、評価の採点基準はどのようなものか。 入札結果の公表(16. 11. 24)によれば、参加者は(株)梓設計、(株)東畑建築事務所、(株)日本設計、(株)類設計室(50音順)の4社であり、総合点で90. 76を評価された(株)東畑建築事務所に決定。他3社は74. 77、72. 81、72. 67(各社特定不能)とのことであつた。小数点2位まで出されたものなので、その、採点に要した基準項目と各点数を表した資料提出を求める。		共産党		

No.	分類	質疑等項目	備考	会派名	留意事項	送付
26	その他	<p>亀岡市(所管部課、職員)が持っている情報を広く市民に、ましてや議員に知らせないということは、本来あり得ないことである。計画立案段階、政策意思形成の段階での情報の提示こそが情報公開の精神であり、決定後の提示は単なる報告に過ぎない。過去から現在に至るすべての情報を議会に提示すべきである。</p>		共産党		